小学校2年生と中学校2年生の成長課題に関する一考察

――平成22年度実施の一宮市子どもの意識・実態調査より――

鈴 木 眞 雄・坂 井 辰 美(一宮市立浅井中学校)10

要約

一宮市では、市内の小中学生を対象にした「意識・実態調査」を実施している。義務教育9年間の成長の課題や問題点を明らかにし、教育行政の基礎資料としてきた。平成22年度の調査では、規範意識について例年より詳細に調査した。また、調査結果から小学校2年生の学習理解や中学校2年生の学校生活などに、他学年に比べて意識や生活実態に成長課題があることが分かった。

keywords: 規範意識, 成長課題, 小学生, 中学生, 意識調査

問題と目的

現在,小中学校では,不登校・いじめ・非行など多種多様な問題を抱えている。このような問題に対応するため,教育現場では多くの時間と労力が割かれているが,顕著な成果を得られているとはいえない。この原因には,小中学校が小中学生の多種多様な問題に組織的に十分には対応できていなかったり,学校・地域・家庭の連携が不十分だったり,変化していく小中学生の意識や生活実態を十分には把握できていなかったりすることが考えられる。

小中学生が抱える諸問題に対応するためにはまずは小中学生の意識や生活実態をできるだけ知る必要があると考えて、一宮市では、例年「子どもの意識・実態調査」を実施し、学校や家庭生活を中心に、小中学生の意識や生活実態の把握に努めてきた。平成22年度の調査では、子どもたちの地域での様子や規範意識に関する内容を増やして、調査を実施した。

本調査は、学校生活、家庭生活、規範意識、

地域とのつながりについて、小学校1年生から中学校3年生までの児童生徒を対象に質問紙法で調査を行った。また、今回の調査では、小中学生の意識や生活実態を幅広く知ることを主にしたため、一つ一つの内容を深く掘り下げたものではない。これは、小中学生の意識や生活実態を多面的に調査し、学年間の比較をすることで小中学校9年間の成長の課題や問題点を明らかにすることをねらったからである。

調査の概要

1 調査の目的

小中学生の家庭、学校、地域社会における生活の実態や規範意識、地域とのつながりなどを 把握することにより、一宮市の学校教育、家庭 教育などの健全育成事業の基礎資料を得ること を目的として実施する。

2 調査の実施時期

平成22年12月上旬の2週間 学年としての特徴が出てくる2学期の終了時 に実施した。

¹⁾ 前一宮市福祉こども部青少年育成課

3 調査の方法

(1) 調査の対象

一宮市の公立小中学校61校に在学する小学校1年~6年までの各校1学級。中学校1年,2年,3年の各校2学級を対象に実施した。

小学校

1年生:832名 2年生:846名 3年生:757名 4年生:792名 5年生:546名 6年生:530名 中学校

1年生:659名 2年生:824名 3年生:811名

(2) 調査の実施方法

- ① 質問紙法で実施する。
- ② 担任教師が教室で調査票を配布する。
- ③ 質問毎にいくつかの選択肢から1つ回答する自記式調査とする。
- ④ 質問数は、小学校1、2年生(以下、低)は13問、小学校3、4年生(以下、中)は20問、小学校5、6年生(以下、高)は24問、中学生は26問とする。

4 調査項目

調査項目の構成は以下の通りである。

- (1) 学校生活について 6問(低:4問,中:6 問,高:6問,中学生:6問)
- ① 学校の楽しさ(低・中・高,中学生)
- ② 授業の理解度(低・中・高,中学生)
- ③ 学校行事への参加度(低・中・高,中学生)
- ④ 友人関係(低・中・高,中学生)
- ⑤ 英会話(中・高,中学生)
- ⑥ 教師について(中・高,中学生)
- (2) 家庭生活について 7問(低:4問,中:5 問,高・中学生:7問)
- お手伝い(低・中・高,中学生)

- ② 家庭学習の時間(低・中・高,中学生)
- ③ 朝食の様子(低・中・高,中学生)
- ④ 携帯電話の所持(高,中学生)
- ⑤ メールの時間(中・高,中学生)
- ⑥ 読書の状況(低・中・高,中学生)
- ⑦ 将来についての話し合い(高,中学生)
- (3) 学校家庭生活について 2問(低・中・高・ 中学生: 2問)
- ① あいさつの状況(低・中・高,中学生)
- ② 相談相手(低·中·高,中学生)
- (4) 規範意識について 6問(低:0問,中:3 問,高:4問,中学生:6問)
- ① 学校・学級のルールに対する意識(中・高,中学生)
- ② 親との関係(中・高,中学生)
- ③ 万引きに対する意識(中・高,中学生)
- ④ たばこ・飲酒・薬物に対する意識(高,中学生)
- ⑤ 暴走族に対する意識(中学生)
- ⑥ 深夜徘徊に対する意識(中学生)
- (5) 地域とのつながり 5問(低:3問,中:4 問,高・中学生:5問)
- ① 居住地への意識(低・中・高,中学生)
- ② 地域行事への参加(低・中・高、中学生)
- ③ 地域とのつながり(低・中・高,中学生)
- ④ 地域への関心(高,中学生)
- ⑤ ボランティア活動への参加意欲(中・高, 中学生)

調査結果

回答の分布については附表として後出する。 ここでは、項目毎に回答の特徴を記述する。

1 学校生活について

(1) 「学校は, 楽しいですか。」(以下「学校の 楽しさ」)

小学校では、「楽しい」「どちらかといえば楽 しい」を合わせると9割(附表1)の児童が学 校を楽しいと感じている。

中学校1年生は小学校と同様の傾向を示しているが、中学校2年生では、9割を切る。「楽しい」と答えた生徒の割合も5割を切る。中学校3年では「楽しい」と答えた生徒の割合は少し回復するが、50.4%と半分程度である。また、「楽しい」「どちらかといえば楽しい」は9割を超えるまでに回復する。

(2)「授業は、よく分かりますか。」(以下「授業の理解度」)

小学校では、「よく分かる」「だいたい分かる」 が8割台で推移する。「よく分かる」は1年生で57.7%であったものが、6年生では38.3%と20%程度減少する。2年生は「よく分かる」と答えた児童が1年生に比べて13.3%減少する。

中学校では、「よく分かる」「だいたい分かる」 を合わせても7割を切る。また、1年生で「よく分かる」と答えた生徒は、6年生と比較する と半減している。

(3)「学校の行事に、熱心に参加していますか。」 (以下「学校行事への参加意欲」)

小学校では、1年生が熱心に「参加している」 割合が86.1%であるが、6年生にかけて56.6% に減少する。熱心に「参加している」「ほぼ参 加している」を合わせると、1年生から6年生 までは9割台で推移している。

中学生になると、熱心に「参加している」「ほぼ参加している」を合わせると8割台で推移している。熱心に「参加している」と回答している生徒は2年生が一番低く、3年生が一番高くなっている。

(4)「あなたは、仲のよい友だちが、何人いますか。」(以下「友人関係」)

友人の人数は、小学校から中学校まで3人以上の割合が9割を超えている。また、小学校から中学校まで大きな差は見られない。

(5)「先生は、クラスのみんなのことを考えて くれますか。」(以下「教師について」)

小学校では、「考えてくれる」「だいたい考えてくれる」を合わせると、9割程度を示している。ただし、6年生では「考えてくれる」割合は53.4%まで下がる。

中学校では、1年生には6年生とほぼ同じ傾向があるが、2年生では「考えてくれる」の割合は4割程度に減少する。否定的な回答をする生徒は16.0%と最も多くなる。3年生では、「考えてくれる」「だいたい考えてくれる」を合わせると9割を超え、中学校1年生を上回る。

2 家庭生活について

(1) 「家のお手伝いをしていますか。」(以下「お 手伝い」)

小学校では、「している」「時々している」を 合わせると9割前後の児童がお手伝いをしてい る。ここでも、2年生は「している」と答えた 児童の割合が一番低い。また、3、4年生が「し ている」の割合が高いのが、この質問項目の特 徴である。

中学校に入ると、「している」「時々している」 合わせた割合が、8割を割り込む。また、学年 が進むにしたがって、お手伝いをする生徒の割 合は減少していく。

(2)「学校の授業のほかに、どのくらいの時間 勉強をしますか。」(以下「家庭学習の時間」)

小学校では、1時間以上学習する児童の割合は、学年が進むにしたがって増加している。た だし、2年生は、2時間以上学習する児童の割 合は6学年で一番低く、全くしない児童の割合 も最も多い。「授業の理解度」の項目と関連し てみると、低い理解度の原因の一つとして「家 庭学習の時間」の短かさが考えられる。

中学校では、2年生が「しない」と答えた生徒の割合が最も多く、2時間以上学習する生徒の割合も最も少ない。中学校でよく言われる「中だるみの学年」と言われる状態が分かる。

(3)「学校に行く日は、朝食を食べてきますか。」 (以下「朝食の様子」)

小学校では、どの学年も9割を超える児童が 朝食を毎日食べてきている。学年による差はな い。

中学校では、小学校と比較すると僅かではあるが、朝食を食べない生徒の割合が高くなる。 また、学年が進むにしたがって「食べない日のほうが多い」「ほとんど食べない」と答えている生徒の割合が増加する。

(4)「あなたは、携帯電話を持っていますか。」 (以下「携帯電話の所持!)

5年生で2割弱であった所持率は、6年生で2割強、中学校1年生で4割弱、2年生で5割弱と増加していき、中学校3年生では、過半の生徒が所持することになる。

(5)「学校から帰って、パソコンや携帯電話のメールを何時間くらいしますか。」(以下「メールの時間」)

小学校では、1時間以上メールをしている児 童は1割以下である。6年生でも9.1%である。

中学校では、携帯電話の所持率が高まるのに 比例して、長時間メールをやり取りする生徒の 割合が増える。3年生では、1日に1時間以上 メールのやり取りをする生徒の割合が34.1%ま で増える。

(6)「家の人と将来について話し合うことがありますか。」(以下「将来についての話し合

(11)

小学校では、「よくある」「時々ある」と答えた児童が50%を超えている。5年生と6年生では大きな差がない。

中学校では、学年が進むにつれ、「よくある」「時々ある」ともに増加していく。3年生では、「よくある」「時々ある」を加えると73.7%である。アンケートの実施時期が12月で進路相談が本格化していたことも影響しているのであろう。

3 学校家庭生活について

(1)「進んであいさつができますか。」(以下「あいさつの状況」)

小学校では、「できる」「だいたいできる」と 回答した児童の割合が9割程度で推移する。「で きる」と答えた割合は、2年生と5年生で5割 を割り込む。

中学校では、「できる」「だいたいできる」の 割合が9割を割り込んで推移する。また、2年 生は、83.2%と最低になる。

(2) 「困ったことがあるときに, だれに相談しますか。」(以下「相談相手」)

小学校では、6学年ともに相談相手として「家族」が1番多い。割合は40%程度で推移する。「友だち」の割合は、学年が進むにしたがって増加していく。逆に、「先生」の割合は減少していく。また、「相談しない」と回答した児童も学年が進むにしたがって増加していく。

中学校では、「友だち」の割合は40%強で推移する。「家族」を選択する生徒は1年生で35.5%、2・3年生では30%程度である。「先生」の割合は1割程度で推移する。「相談しない」の割合は2年生から1割を超え、13.6%と増加する。

4 規範意識について

(1)「学校のきまりや学級の約束事を守れていますか。」(以下「学校・学級のルールに対する意識」)

小学校では、「守れている」「だいたい守れている」と回答した割合は、学年が進むにしたがって減少していく。「守れている」と回答した割合の減少幅は、2つ合わせた減少幅より大きい。中学校では、2年生以外は、「守れている」「だいたい守れている」を合わせて9割を超えている。

(2)「親から言われたことは守るべきだと思いますか。」(以下「親との関係」)

小学校では、全体では「そう思う」「だいたい思う」の合計で97.1%であるが、「そう思う」と回答した児童の割合は学年が進むにしたがって、減少していく。「思わない」と回答した割合はほぼ変化がない。

中学校は、1年生で40.1%になる。小学校6年生と比較すると22.4%の減少である。また、学年が進むにしたがって「そう思う」と回答した割合も減少する。

(3)「仲のよい友だちや先ぱいから万引きをしようとさそわれたとき、断ることができますか。」(以下「万引きに対する意識」)

小学校では、断ることが「できる」と答えた 児童は、学年が進むに従って増加傾向を示す。 また、「できない」と答える児童は減少していく。 中学校では、6年生の時に比べて、一旦は「で きる」生徒の割合が減少するが、それ以降は増 加していく。

(4)「仲のよい友だちや先ぱいからたばこ,お酒,シンナーなどをすすめられたとき,断ることができますか。」(以下「たばこ・飲酒・薬物に対する意識」)

断ることが「できる」と答えた児童・生徒は、

学年が進むにしたがってほぼ増加していく。

5 地域とのつながり

(1)「自分の住んでいる町が,好きですか。」(以下「居住地への意識」)

小学校では、「大変好き」「どちらかといえば好き」を合わせた割合は、4年生で微増するのを除いて、学年が進むにしたがって減少していく。

中学校では、「大変好き」「どちらかといえば好き」を合わせた割合は、小学校6年生の時と比べると3.1%の減少であるが、「大変好き」は14.9%と大幅に減少する。また、2年生では、「大変好き」と答えた生徒が、12.7%と大幅に減少する。

(2)「地域のお祭りや子ども会の活動に参加しますか。」(以下「地域行事への参加」)

小学校では、「よく参加する」と回答した児童の割合が、4年生までは増加するが、5年生からは減少する。

中学校では、1年生で「よく参加する」と回答した生徒が6年生と比較して半減する。それ以降も減少し続ける。

調査結果の分析

1 分析方法について

小中学生の意識や生活実態を探るために,以下の統計処理を行った。

- (1)「学校生活について」「家庭生活について」「学校家庭生活について」「規範意識について」「地域とのつながり」の大項目毎に重点的に分析する質問を以下のように選択する。
- ① 学校生活について:「学校の楽しさ」「授業 の理解度 |
- ② 家庭生活について:「お手伝い」「将来につ

いての話し合い」

- ③ 学校家庭生活について:「あいさつの状況」 ※③は質問が2つなので1つの質問のみを分析する。
- ④ 規範意識について:「学校・学級のルール に対する意識」「親との関係」
- ⑤ 地域とのつながり:「居住地への意識」「地域とのつながり」
- (2) 上記に質問については、クロス集計・相関 関係を調べた。また、重回帰分析を行うこ とで、集計結果に対する影響度(tで表す) を調べた。

2 小学校

(1) 学校生活について

「学校の楽しさ」に対して相関係数の高い上 位3つの質問は「居住地への意識」(r=.34)「授 業の理解度」(r = .32)「教師について」(r = .31)である。また, 重回帰分析を行った結果決定率 $R^2 = 0.28$ であった。低学年では「居住地への 意識」(t=10.7)「読書の状況」(t=6.3)「授 業の理解度」(t=6.0) の順で高い影響度を示 している。中学年では、「教師について」(t= 8.4) の質問の影響度が一番高い。高学年では、 「教師について」(t = 7.24) の次に「友人関係」(t = 7.24)=7.20) の影響度が高い特徴がある。このよう に、小学牛が「学校牛活が楽しい」と感じるの は,低・中・高学年ともに授業内容がよく分かり, 地域でも安定した生活ができていることが大切 であることが分かる。また、学年が進むにした がって、「学校生活が楽しい」と感じるには「先 生が、クラスのみんなのことを考えてくれる。」 ことも重要になる。また、高学年になると、学 校生活が楽しくなるためには、友だちの人数も 大きな要素となる。

「授業の理解度」に対して相関係数が高いの

は、「学校行事への参加度」(r=.27)「教師に ついて|(r=.25)「読書の状況|(r=.24)の 質問である。また、重回帰分析を行った結果決 定率 $R^2 = 0.30$ であった。低学年では「学校行 事への参加度 | (t = 7.2) 「学校の楽しさ | (t = 6.0) 「朝食の様子」(t=5.0) の順で, 中学年 では、「学校の楽しさ」(t=6.9)「親との関係」 (t=4.8)「学校•学級のルールに対する意識」(t =4.8) の順で, 高学年では「学校の楽しさ」(t = 7.0) 「メール時間」(t = 5.3) 「家庭学習の時間」 (t=5.2)の順で影響度が高い。このように、「授 業はよく分かる」と感じているのは, 低学年で は学校行事など学校生活が充実し楽しいことが 影響している。学年が進んでいくにしたがって、 メールをする時間が適切であったり、家庭学習 の時間が確保されていたりと下校後の家庭生活 の状態も, 授業の理解度に影響する。

(2) 家庭生活について

「お手伝い」に対して相関係数が高いのは、 「あいさつの状況」(r=.31)「居住地への意識」 (r=.24)「ボランティア活動への参加意欲」(r=.24)=.24) の質問である。「お手伝い」とこれら3 つの質問とをクロス集計してみると、「あいさ つの状況」と「居住地への意識」は80%以上 が肯定的回答に集中している。つまり、お手伝 いができあいさつができる児童やお手伝いがで き自分の町が好きな児童が8割以上を占めてい ることが分かる。一方、相関係数は高いが、あ いさつはでき資源回収や清掃活動などのボラン ティア活動ができる児童は52.3%で3つの質問 のなかで一番低い。次に重回帰分析を行った結 果決定率 $R^2 = 0.10$ であった。低・中・高学年 ともに「あいさつの状況」(低:t = 6.3中:t = 8.8高:t=7.8) は一番影響度が高い。また、低・ 中学年は、「地域とのつながり」(低:t=5.1中:

t=6.1)の影響度が高い。中学年では、「ボランティア活動への参加意欲」(t=6.9)の影響度も高い。高学年では、「地域とのつながり」(t=3.9)や「ボランティア活動への参加意欲」(t=3.6)より「親との関係」(t=4.2)の方が高い影響度である。このように、家庭でお手伝いをする小学生は、あいさつをし、住んでいる町が好きであり、地域の資源回収や清掃活動への参加意欲が高い傾向がある。また、お手伝いを熱心に取り組む小学校低・中学年は、地域の人たちとも良好な関係がある。高学年になると、お手伝いをする児童の傾向として、地域との関係よりも親との関係の方が影響が大きくなる。

「将来についての話し合い」に対して相関係数が高いのは、「親との関係」(r=.21)「地域とのつながり」(r=.31)「地域への関心」(r=.28)の質問である。また、重回帰分析を行った結果決定率 $R^2=0.14$ であった。「地域とのつながり」(t=6.2)や「地域への関心」(t=4.6)が高い影響度を示している。将来について家の人と話し合いができる児童は、親の言うことは聞くべきだと考え、地域の人たちと良好な関係であり、地域の歴史や自然に対する関心が高い。

(3) 学校家庭生活について

「あいさつの状況」に対して相関係数が高いのは、「地域とのつながり」(r=.28)「地域への関心」(r=.24)「学校・学級のルールに対する意識」(r=.23)の質問である。また、重回帰分析を行った結果決定率 $\mathbf{R}^2=0.23$ であった。どの学年でも「地域とのつながり」(低:t=6.0、中:t=8.4、高:t=7.1)が高い影響度を示している。中・高学年では、「英会話」(中:t=7.4、高:t=8.5)の影響度が高い。あいさつが「できる」と回答している児童は51.1%で、「だいたいできる」まで合わせると90.9%である。平

成16年度からの同様のアンケート調査結果の 推移と比較しても最も高い数値である。今年度 の結果からは、あいさつができる児童は、地域 の人たちとのつながりが深く、学校での規範意 識が高いことが分かる。

(4) 規範意識について

「学校・学級のルールに対する意識」は3年 生以上に対する質問である。この質問に対して 相関係数が高いのは、「親との関係」(r=.29)「地域への関心」(r=.28)「居住地への意識」(r =.25) の質問である。重同帰分析を行った結 果決定率 $\mathbb{R}^2 = 0.24$ であった。中・高学年ともに、 最も影響度が高いのは、「教師について」(中: t=4.7, 高:t=7.0) である。次に高いのは「親 との関係」(中:t=4.3, 高:t=6.5) である。 「学校行事への参加意欲」(t=4.9) も高学年は 3番目に高く、中学年は4番目に高い結果となっ ている。このように肯定的な回答をした児童は、 影響度から考えると、教師がクラスのことを考 えていると思っており、親の言うことにも従う 傾向が高い。さらに、学校行事への参加意識も 学年が進むにつれ高くなる傾向がある。

「親との関係」も小学校3年生以上に対する質問である。この質問に対して,「居住地への意識」(r=.28)「地域への関心」(r=.27) 「地域とのつながり」(r=.27) などの地域に関する質問との相関が高い。また,重回帰分析を行った結果決定率 $\mathbb{R}^2=0.21$ であった。中学年では,「居住地への意識」(t=5.5)「お手伝い」(t=4.5)「学校・学級のルールに対する意識」(t=4.1)の順で影響度が高い。高学年では,「学校・学級のルールに対する意識」(t=6.5)「教師について」(t=5.5)「お手伝い」(t=5.2) の順に影響度が高い。「学校・学級のルールに対する意識」(t=5.2) の順に影響度が高い。「学校・学級のルールに対する意識」「お手伝い」(t=5.2) の順に影響度が高い。「学校・学級のルールに対する意識」「お手伝い」(t=5.2) の順に

度が高い。このように肯定的な回答をしている 児童は、学校や学級のルールを守り、家庭では お手伝いをよくする傾向がある。また、高学年 では教師との関係も影響している。

(5) 地域とのつながり

「居住地への意識」に対して相関係数が高い のは、「学校の楽しさ」(r=.34)「親との関係」(r =.28)「教師について |(r=.28)の質問である。 また, 重回帰分析を行った結果決定率 $R^2 = 0.22$ あった。低・中・高学年ともに影響度が一番高 いのが「学校の楽しさ」(低:t=10.7, 中:t =6.1, 高:t=7.0) である。低学年では「授 業の理解度」(t=3.2), 中学年では「親との関係」 (t=5.5), 高学年では「地域への関心」(t=6.9)が次に高い影響度を示している。このように肯 定的な回答をしている児童は、地域に関するこ とよりも学校生活が楽しく,教師との良好な関 係があることが分かる。これは、「学校は、楽 しいですか。」に対する回答が地域との良好な 関係が影響していることの裏返しの関係にある ことを示している。

「地域とのつながり」に対して相関係数が高いのは、「将来についての話し合い」(r=.31)「あいさつの状況」(r=.28)「英会話」(r=.26)の質問である。また、重回帰分析を行った結果決定率 $R^2=0.21$ であった。低学年では「あいさつの状況」(t=6.0)「お手伝い」(t=5.1)の影響度が高い。中学年では「ボランティア活動の参加意欲」(t=8.5)「居住地への意識」(t=5.2)が、高学年では「英会話」(t=8.5)「あいさつの状況」(t=7.1)の影響度が高い。このように肯定的な回答をしている児童は、学校や地域でのあいさつができ、地域でのボランティア活動や地域の行事に積極的に参加する傾向がある。

3 中学校

(1) 学校生活について

「学校生活の楽しさ」に対して「学校行事へ の参加意欲 | (r = .37) 「授業の理解度 | (r = .35) 「居住地への意識」(r=.35) の質問との相関 係数が高い。また、重回帰分析を行った結果 決定率 $R^2 = 0.28$ であった。中学生全体では、 「友人関係」(t=13.0)「居住地への意識」(t= 12.2) 「学校行事への参加意欲」(t=11.2) 「授 業の理解度」(t=10.7)の順で影響度が高い。 1年生では、「居住地への意識」(t=9.1)「授 業の理解度 | (t = 6.4) 「友人関係 | (t = 6.2) の順で影響度が高い。2年生では、「友人関係」 (t = 9.1)「学校行事への参加意欲」(t = 7.0)「授 業の理解度」(t=6.5) の順で, 3年生では, 「居 住地への意識 | (t = 9.1) 「学校行事への参加意 欲」(t=7.6)「友人関係」(t=7.1) の順で影 響度が高い。中学生が「学校生活が楽しい。」 と感じるのは、小学生同様に授業内容がよく分 かり、地域でも安定した生活ができていること が大切である。「友人関係」は3学年ともに重 要な要素となっている。一方, 小学生と違うと ころは、「学校行事への参加意欲」が学校生活 を楽しくする大切な要素となっている反面、「教 師について」は小学生ほど重要ではなくなって いる。

「授業の理解度」に対しては「学校・学級のルールに対する意識」(r=.33)「学校行事への参加意欲」(r=.32)「家庭学習の時間」(r=.32)の質問との相関係数が高い。「授業の理解度」と「家庭学習の時間」のクロス集計を学年毎に見ていくと、「よく分かる」「だいたい分かる」と回答し、2時間以上家庭学習をしている生徒の全体に占める割合は、1年生が26.6%、2年生が24.5%、3年生30.6%である。逆に、「分からないことが多い」「ほとんど分からない」

と回答し、30分以下しか家庭学習をしない生 徒の全体に占める割合は、1年生が5.8%、2年 生が6.5%, 3年生が6.2%である。また、重回 帰分析を行った結果決定率 $\mathbb{R}^2 = 0.33$ であった。 中学生全体では、「学校の楽しさ」(t=10.7)「学 校・学級のルールに対する意識」(t=9.2)「家 庭学習の時間」(t=8.3) の影響度が高い。1 年生では、全体と同じ順で影響度が高い。2年 生では,「学校の楽しさ」(t=6.6)「学校・学 級のルールに対する意識」(t=6.5)「英会話」 (t=5.6) の順に影響度が高い。3年生では、「家 庭学習の時間 |(t = 7.1) 「朝食の様子 |(t = 6.2) 「学校の楽しさ」(t=5.8)の順に影響度が高い。 「授業の理解度」では、学校行事の充実し、学 校生活上のルールが守れているなど学校生活が 充実していることや家庭学習の時間が確保され ていることが大切となる。家庭学習の時間と授 業の理解度の関係を見ると,「よく分かる」「だ いたい分かる」と回答した生徒のうち2時間以 上家庭学習をする割合は、2年生で減少し3年 生で3割に増加する。「よく分かる」「だいた い分かる」と回答した生徒のなかで2時間以上 家庭学習をしている割合は、38.1%、36.2%、 60.6%と3年生で急増する。中学生では、授業 の理解度と家庭学習の時間との関係が小学生以 上に強くなる。

(2) 家庭生活について

「お手伝い」に対して相関係数が高い上位3つの質問は,「親との関係」(r=.22)「地域とのつながり」(r=.22)「ボランティア活動への参加意欲」(r=.21)である。重回帰分析を行った結果決定率 $R^2=0.09$ であった。1年生は「学校行事への参加意欲」(t=3.3)「あいさつの状況」(t=3.1)「親との関係」(t=2.8)の順で,2年生は「ボランティア活動への参加意欲」(t=3.1)

=4.5)「親との関係」(t=4.3)「読書」(t=3.9)の順で、3年生は「将来についての話し合い」(t=4.7)「地域とのつながり」(t=4.5)「ボランティア活動への参加意欲」(t=4.1) の順に影響度が高い。家のお手伝いをしている生徒は、良好な親子関係があり、地域でもあいさつをしたり、ボランティア活動に参加したりする傾向がある。

「将来についての話し合い」に対して相関係数が高い上位3つの質問は「あいさつの状況」 (r=.26)「地域とのつながり」(r=.23)「親との関係」(r=.22) である。また,重回帰分析を行った結果決定率 $R^2=0.14$ であった。中学生全体では,「あいさつの状況」(t=8.0)「読書」(t=7.1)「地域とのつながり」(t=5.9)の質問の影響度が高い。特に2,3年生では「親との関係」(2年:t=4.5,344:t=3.5)の影響度が高い。家の人と将来について話し合いをしている生徒は,あいさつができており,地域の人と話すことも多く,読書も好きな傾向がある。また,学年が進むにしたがって親との良好な関係ができていることも重要となる。

(3) 学校家庭生活について

「あいさつの状況」に対して相関係数が高い質問は「地域とのつながり」(r=.34)「学校・学級のルールに対する意識」 (r=.25)「ボランティア活動への参加意欲」 (r=.20)である。また,重回帰分析を行った結果決定率 $R^2=0.27$ であった。中学生全体では,「英会話」 (t=14.2)「地域とのつながり」 (t=11.0)「将来についての話し合い」(t=8.0)の影響度が高い。学年毎に見ると,「英会話」(14: t=8.0, 24: t=8.4, 34: t=8.1)「地域とのつながり」(14: t=8.4, t=8.4, t=8.1)「地域とのつながり」(t=8.4, t=8.4, t=8.

の参加意欲」(t=4.9)、2・3年生は「将来についての話し合い」(2年:t=5.5、3年:t=3.3)の影響度が高い。この問いに肯定的な回答した生徒の割合は、年々減少してきた。「できる」「だいたいできる」と回答した生徒を合わせた割合はほとんど変わらないことから、積極的にあいさつができる生徒が減少してきている。しかし、本年度の調査では、「できる」と回答した生徒の割合は10%程度増加した。また、進んであいさつができる中学生は、学校や地域でコミュニケーションを積極的にとろうとする傾向がある。また、学年が進むにつれ親と将来について話し合うような良好な親子関係ができている。

(4) 規範意識について

「学校・学級のルールに対する意識」に対 して相関係数の高い質問は、「親との関係」(r =.33) 「深夜徘徊に対する意識」(r=.24) 「地 域への関心」(r=.23) である。重回帰分析を 行った結果決定率 $R^2 = 0.22$ であった。中学生 全体では、「親との関係」(t=10.1)「学校行事 の参加意欲」(t = 9.1)「教師について」(t = 8.6)の影響度が高い。「親との関係」(1年:t=5.2, 2年:t=5.4,3年:t=7.1) は3学年ともに 高い影響度を示している。「教師について」は 1年生(t=5.5) と3年生(t=5.7) が高い影 響度を示している。2年生では、「学校行事へ の参加意欲」(t=6.6) の影響度が一番高い。 学校のきまりや学級の約束事を守れている生徒 は、親から言われたことは守り、深夜徘徊の誘 いを断ることができると考えており、地域への 関心も高い傾向がある。また、先生がクラスの ことを考えてくれていることも影響する。

「親との関係」に対して相関係数が高い質問は、「地域への関心」(r=.27)「深夜徘徊に対する意識」(r=.26)「居住地への意識」(r=.25)

である。重回帰分析を行った結果決定率 \mathbb{R}^2 = 0.17であった。中学生全体では,「学校・学級のルールに対する意識」(t=10.1)「教師について」(t=7.3)の学校に関する2つの質問と「お手伝い」(t=7.3)の家庭に関する質問の影響度が高い。3学年ともに「学校・学級のルールに対する意識」(1年:t=5.2,2年:t=5.4,3年:t=7.1)の影響度が高い。2,3年生は「教師について」(2年:t=4.2,3年:t=4.6)の影響度が高い。親から言われたことは守るべきだと考える中学生は,地域が好きで,地域に歴史や自然に関心があり,深夜徘徊の誘いを断ることができると考えていることや教師が学級のことを考えてくれていることが影響している。

(5) 地域とのつながり

「居住地への意識」に対して相関係数が高い のは、「地域への関心」(r=.31)「地域行事へ の参加 \rfloor (r=.30)「地域とのつながり \rfloor (r=.25) の質問である。また、重回帰分析を行った結果 決定率 $R^2 = 0.16$ であった。1, 2, 3年生とも に「学校の楽しさ」(1年:t=5.0, 2年:t=6.0,3年: t = 7.5) 「地域行事への参加」(1年: t = 5.3, 2年: t=4.4, 3年: t=5.6) 「地域への関 心」(1年:t=3.5, 2年:t=5.5, 3年:t=4.8)の影響度が高い。自分の住んでいる町が好きな 中学生は、地域行事への参加意欲が高く、地域 の歴史や自然に対する関心が高い傾向がある。 また、学校の楽しさも影響している。これは、 学校が楽しいと答えた生徒は地域が好きだと答 えていることと同じような傾向を示している。 「地域とのつながり」に対して相関係数が高

「地域とのつなかり」に対して相関係数か高いのは、「地域への関心」(r=.36)「あいさつの状況」(r=.34)「居住地への意識」(r=.25)の質問である。また、重回帰分析を行った結果決定率 $R^2=0.11$ であった。1, 2, 3年生とも

に「ボランティア活動への参加意欲」(1年:t=5.9, 2年:t=5.9, 3年:t=5.6)「居住地への意識」(1年:t=5.3, 2年:t=4.4, 3年:t=6.3)「学校行事への参加意欲」(1年:t=4.7, 2年:t=4.8, 3年:t=4.9)の影響度が高い。近所の人と話をする生徒は,進んであいさつをし,地域の歴史や自然にも関心が高く,住んでいる町が好きだと考えている傾向が強い。また,地域でのボランティア活動に参加意欲や学校行事への参加意欲も影響している。

考察

今回の調査は、一宮市の小学校1年生から中学校3年生までの成長の課題や問題点を明らかにすることを目的とした。そこで、ここでは小学校2年生の「授業の理解度」の問題と中学校2年生の問題について考察する

(1) 小学校2年生の「授業の理解度 | について

図-1から分かるように「授業がよく分かる」 と回答した児童の割合は、1年生で57.7%と9 年間で最大値を示している。しかし、2年生では13.3%減少し、3年生では2年生と比較して 5.8%増加する。その後は学年が進むにしたがって逓減していく。このように小学校2年生で一旦落ち込み3年生で回復する傾向は、平成21年度前には見られなかった。この原因を学習内容の面から考えると、2年生からは九九の学習や学習すべき漢字の量が増えるなど、1年生に比べて学習が難しくなったり、新学習指導要領の移行措置の内容が増えたりしたことなどが要因として考えられる。

表-1 重回帰分析の結果(数字はt値)

	学校の楽しさ	学校行事へ の参加度	お手 伝い
小学校全体	10.7	5.1	0.2
1年生	5.9	5.3	0.8
2年生	7.4	8.4	5.3
3年生	8.4	4.1	0.3

ここでは、今回の調査から2年生の落ち込みの原因を意識面から探ってみる。まず、「授業の理解度」とその他の相関を見ると、「お手伝い」(r=.33)には小学校2年生では中程度の相関が見られたが、小学校全体では見られなかった。また、重回帰分析を行い、「小学校全体」「小学

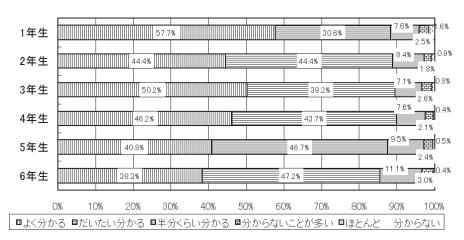


図-1 質問「授業は、よく分かりますか」の回答

校2年生」と小学校2年生の前後の学年である 「小学校1年生」「小学校3年生」のそれぞれで、 「授業の理解度」に関する影響度を調べた。そ の結果、「学校の楽しさ「学校行事への参加度」 はどの学年でも影響度が高い。小学校2年牛の 特徴は、「お手伝い」の影響度が高いことである。 小学校2年生の時期の「お手伝い」については、 親子の関わりを見るバロメーターでもある。特 に母親が「お手伝い」という形で子どもとの関 わりも持っている場合, 学習に対しても手をか けていることが推察される。つまり、小学校2 年生では学習内容が1年生に比べて難しくなる 時期であるため、親が家庭学習を見てあげられ たかが今までの学力形成には大切であった。近 年の学習内容の増加に伴って親子関係の要素が 増していることがうかがえる。

(2)「学校の楽しさ」について

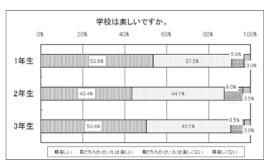


図-2 学校は楽しいですか。

今回の調査を分析していくなかで、中学校2年生の回答傾向に特徴が見られた。例えば、図-2「学校は楽しいですか。」の問い対して、1年生は53.6%、2年生は43.4%、3年生は50.4%が楽しいと答えている。また、「学校のきまりや学級の約束事を守れていますか。」の問いに対して、1年生は30.5%、2年生は26.1%、3年生は37.1%が守れていると答えている。このように、いろいろな問いに対して、

2年生が落ち込む傾向がある。そこで、「学校は楽しいですか。」の問いを中心に、中学校1・3年生と中学校2年生の比較を詳しく分析していく。

まず、学年毎に質問間の相関関係をみると、3学年ともに相関関係が見られるのは、「授業の理解度」 $(r=.35\sim.38)$ 「学校行事への参加度」 $(r=.31\sim.40)$ 「友人関係」 $(r=.29\sim.40)$ などである。2年生で特徴的なのは、「学校の楽しさ」と「学校・学級のルールに対する意識」に、1.3年生では相関関係があるが、2年生にはない点である。

「学校の楽しさ」に対する影響度を見ると、1 ~3年生までともに高いのは、「授業の理解度」「学校行事への参加度」「友人関係」の3つの質問である。2年生では一番影響度が高いのが、「友人関係」である。1年生では、「授業の理解度」が、3年生では「居住地への意識」の影響度が一番高い。また、2年生は、「教師について」「親との関係」の質問の影響度は1・3年生に比べて低くなっている。

次に、表-2のように「学校の楽しさ」と「授業の理解度」「学校行事への参加度」「教師について」「家庭学習の時間」「あいさつの状況」とをクロス集計し、2年生と1・3年生との比較を行った。その結果、「授業の理解度」「学校行事への参加度」「家庭学習の時間」「あいさつの状況」については、2年生と1・3年生とでは大きな差はなかった。一方、「学校の楽しさ」と「教師について」では、「学校は楽しい」と答えた生徒のうち「先生は、クラスのみんなのことを考えてくれる。」と答えた生徒の全体に占める割合が、1、3年生に比べて2年生は10%程度下回っている。

そこで,先生や親と中学生との関係を,学年 毎に「教師について」と「親との関係」で見て

			先生はクラス	スのみんなのこ	ことを考えてく	、れますか。
			考えてくれ	だいたい考		考えてくれ
			る	えてくれる	てくれない	ない
		楽しい	34.4%	16.4%	1.4%	1.4%
	一年	どちらかといえ ば楽しい	15.3%	17.6%	3.0%	1.5%
	生	どちらかといえ ば楽しくない	2.6%	2.3%	0.8%	0.3%
		楽しくない	0.8%	0.9%	0.2%	1.2%
学		楽しい	23.7%	15.2%	2.4%	2.2%
学校は楽しい		どちらかといえ ば楽しい	13.7%	22.7%	6.1%	1.6%
いですか。	生	どちらかといえ ば楽しくない	2.1%	4.5%	1.7%	0.7%
0		楽しくない	1.2%	1.0%	0.7%	0.6%
		楽しい	33.4%	15.4%	1.0%	0.6%
	三年	どちらかといえ ば楽しい	17.3%	19.6%	2.3%	0.9%
		どちらかといえ ば楽しくない	2.5%	3.3%	0.6%	0.1%
1	1					

1.0%

表2 学校の楽しさ×先生との関係

みると、「先生は、クラスのみんなのことを考えてくれる。」と答えた生徒のうち「親から言われたことは守るべきだと思いますか。」に「そう思う」「だいたい思う」と答えた生徒の割合は、1・3年生では50%を上回っているが2年生は、38.5%と10%以上低くなっている。教師と親の両者に対して良好な関係が築けていない生徒の割合が2年生は高いことが分かる。

楽しくない

このように、今回のアンケートでの2年生の意識の落ち込みの原因の一つとして、教師や親との良好な関係を築けていないことがあげられる。また、2年生の生徒が「学校は楽しい。」と感じるようになるためには、友人関係が豊かになること、学校行事に積極的に参加できるよ

うになること, 授業が理解できるようになることの順に重要になることが分かった。

0.4%

0.2%

(3) 規範意識について

1.4%

次に、中学校2年生の問題として非行問題が ある。そこで、意識面での関連が深い規範意識 について分析をする。

規範意識を聞く質問の中で、①万引きを誘われた時断れますか。(「万引き」),②たばこ・お酒・シンナーなどを断れますか。(「たばこ」),③ 暴走族を見に行こうと誘われた時断れますか。(「暴走族」),④深夜に遊びに行こうと誘われた時断れますか。(「深夜徘徊」)の4つの質問はそれぞれに相関関係にある。この中でも一番「迷

う」「断れない」との答えが多かったのは、「深 夜徘徊」である。次は「暴走族」である。これ は、明確に法律に触れるかどうかの判断も影響 しているのであろう。

4つの質問のうち、初発型非行の重要な課題である「万引き」について詳しく見ていく。まず、「万引きをしようと誘われた時断ることができるか。」の回答状況には学年別、男女別には大きな差はない。

表-3「学校の楽しさ」では学校が楽しいと答えた生徒の93.7%が断ると答え、「迷う」「できない」と答えた生徒はあわせて6.3%であった。一方「楽しくない」と答えた生徒のうち「迷う」「できない」と答えた生徒は31.5%と、学校が楽しくないと感じる生徒の3割程度は万引きに誘われやすいことが分かる。

表-3 万引きを断ることができますか。×学校 は楽しい。

学校は楽しいか。	断る	迷う	でき ない
楽しい	93.7%	5.1%	1.3%
どちらかといえ ば楽しい	89.9%	9.3%	0.7%
どちらかといえ ば楽しくない	86.1%	10.2%	3.6%
楽しくない	68.5%	17.8%	13.7%

表-4「授業の理解度」でも「ほとんど分からない」と答えた生徒のうち、30.2%が「迷う」「できない」と答えている。さらに、家庭での学習をしないと答えた生徒のうち「迷う」「できない」と答えた生徒の割合は21.0%であった。

表-4 万引きを断ることができますか。×授業が分かる。

授業が分かるか	断る	迷う	でき ない
よく分かる	96.2%	3.1%	0.7%
だいたい分かる	91.7%	7.4%	1.0%
半分くらい分かる	90.8%	8.0%	1.2%
分からないこと が多い	79.8%	16.8%	3.5%
ほとんど分から ない	69.8%	12.7%	17.5%

表-5「友人関係」では、友だちが「いない」と答えた生徒のうち15.6%が誘いを断ることが「できない」と答えており、「迷う」まで含めると18.7%になる。また、友人の数が多くなるにしたがって、「断る」と回答する生徒の割合が増える。

表-5 万引きを断ることができますか。×友だ ちの人数

友だちの人数は	断る	迷う	でき ない
いない	81.3%	3.1%	15.6%
1~2人	85.6%	12.9%	1.5%
3~4人	88.1%	11.3%	0.7%
5人以上	91.8%	6.7%	1.5%

今後の課題

学校現場では、中学校2年生の問題は学校経営での大きな課題となっている。今回の調査の結果、意識や生活実態の中には1年生や3年生に比べて落ち込む傾向があることが確かめられた。反面、規範意識を問う質問では、学年間に大きな差はなかった。このことは、中学校2年

生の問題行動は規範意識の低下ではなく、学校 生活や家庭生活での不満から来ているとも考え られる。

学校現場では、中学校2年生に対する対応は個々の教師が自らの経験に基づいたものとなりがちである。そのため、学校全体での取り組みを教師集団が統一して取り組めていない面がある。今回考察では、中学校2年生の意識や生活実態を変える上での指摘をした。この点を考慮し、教師集団が協働の精神で中学校2年生問題に対応できることが望まれる。

付記

本論文は筆者が一宮市福祉こども部青少年育

成課に在職中の研究成果をまとめたものである。その際、名古屋学院大学スポーツ健康学部 /人間健康学部 鈴木眞雄教授とは帳票の作成から結果の解釈まで共同で行った。

また、一宮市福祉こども部、一宮市教育委員 会には、本論文の発表の許可をいただいたこと に感謝申し上げる。

参考文献

1 平成22年度「子ども意識・実態調査」報告書 http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/division/ seinennoie/H22ishikijittai.pdf

なお、この分析にはExcel 2007を使用した。

名古屋学院大学論集

(附表-1) 平成22年度 「子どもの意識・実態調査」の結果(小学校)

附表-	-1)			1 100, 2	2 千汉	1 1		小区区田区	天心	ун <u>ј</u>	シャロス	C (\1	子汉				
			1				2					3				4	
	学校	は,楽し	しいです	っか。	授業	とは,よ	く分か	ります	か。		ますか。	5				仲のよ ますか。	
	楽しい	どちらか といえば 楽しい		楽しく ない	よく 分かる	だい たい 分かる	半分 くらい 分かる		ど分か	参加 して いる	ほぼ参 加して いる	あまり参 加して いない		いない	1~2人	3~4人	5 <i>月</i> 以_
年生	670	120 32.8%	25 5.3%	17	480	255	63	21	13	716	92	15	9	_	_	107 12.9%	6
年生	575	220	3.3%	5	57.7% 376	376	7.6%	2.5% 15	1.6%	86.1% 697	11.1%	1.8%	1.1%	1.0%	53	80	7
, +-	68.0% 511	26.0% 198	5.4%	0.6%	44.4% 380	44.4% 297	8.4% 54	1.8%	0.9%	82.4% 587	13.1%	4.0%	0.5%	0.5%	6.3%	9.5% 78	83.8
年生	67.5%	26.2%	4.5%	1.8%	50.2%	39.2%	7.1%	2.6%	0.8%	77.5%	18.2%	3.4%	0.8%	0.4%	5.8%	10.3%	83.5
年生	522 65.9%	225 28.4%	4.7%	1.0%	366 46.2%	346 43.7%	7.6%	2.1%	0.4%	542 68.4%	210 26.5%	38 4.8%	0.3%	0.3%		104 13.1%	80.1
年生	338	175	23	10	223	255	52	13	3	339	162	45	0	2	21	70	4
6年生	317	32.1% 174	4.2%	1.8%	40.8%	250	9.5% 59	2.4%		62.1%	183	8.2% 43	0.0%	0.4%	_	12.8% 70	83.0
) 平生.	59.8%	32.8%	5.3%	2.1%	38.3%	47.2%	11.1%	3.0%	0.4%	56.6%	34.5%	8.1%	0.8%	0.9%	4.0%	13.2%	81.9
			5				5			,	7				8		
	学校で、外国の先生と英語 あいさつや会話をしますか。				ことを考えてくれますか。				家のお手伝いをしていますか				学校の授業のほかに, どの の時間勉強をしますか。				くら
	自分からする	がすれ	会話はしな いが, あい さつはする	しない	考 て れる	だいた い考え てくれる	あまり 考えて くれない	考えて くれ ない	している	時々 し いる	あまり してい ない	していない	しない			2 時間 くらい	
年生									386	363	66	17	24	378	258	95	0.0
左上									349	43.6% 385	7.9%	2.0%	2.9%	45.4% 377	275	11.4%	9.3
年生	332	206	198	21	591	136	25	5	41.3% 385	45.5% 285	11.0% 62	2.2%	5.1%	44.6% 268	32.5% 262	12.2% 126	5.7
年生					78.1%	_	3.3%		50.9%		8.2%	3.3%			_	16.6%	
年生	266 33.6%	244 30.8%	250 31.6%	32	565 71.3%	196 24.7%	2.7%	13%	424 53.5%	295 37.2%	58 7.3%	1.9%	3.0%	219	283 35.7%	176 22.2%	11 4
年生	145	189	189	23	346	165	20	15	265	226	47	8	11	132	220	124	
, T H-	26.6%	34.6%	34.6% 184	4.2%	63.4% 283	30.2% 188	3.7%	2.7%	48.5% 247	41.4% 202	8.6%	1.5%	2.0%		40.3%	22.7% 130	10.8
5年生	21.7%	37.9%	34.7%	5.7%	53.4%	35.5%	7.9%	3.2%	46.6%	38.1%	12.5%	2.8%	3.0%	20.9%	39.8%	24.5%	11.7
		()			10				11				1	2		
	学校に行く日は、朝食を1べてきますか。				まなたは、携帯電話 管電			一 一 富 江 バメ 一 ル を 何 時間 く ら い しょ									
	毎日食べる				自分のものを持っている		持っ てい ない	しない	1時間 以下	1時間 ~2 時間	2時間 ~3 時間	3時間 以上	好き		どちらか といえば きらい		
	760	_	17			111 2 (1.2)	, a v .			1.01HI	1.7.[H]		E 4.4		200	10	-

		ć	9			10				11				1	2	
	l	行く日 ますか。	は,朝	食を食	あなた を持っ		帝電話		ら帰っ				読	書は好き	きですか	,0
	毎日食べる	食べる 日のほう が多い	食べない 日のほう が多い		のを持っ	家族共用 のものを 持っている	持っ てい ない	しない	1時間 以下	1時間 ~2 時間	2時間 ~3 時間	3時間 以上	好き		どちらか といえば きらい	きらい
1年生	760	48	17	7									544	184	56	48
1 平生	91.3%	5.8%	2.0%	0.8%									65.4%	22.1%	6.7%	5.8%
2年生	788	39	8	11									465	271	65	45
2 平生	93.1%	4.6%	0.9%	1.3%									55.0%	32.0%	7.7%	5.3%
3年生	712	32	11	2				629	105	14	4	5	401	249	63	44
3 华生	94.1%	4.2%	1.5%	0.3%				83.1%	13.9%	1.8%	0.5%	0.7%	53.0%	32.9%	8.3%	5.8%
4年生	734	28	26	4				632	126	20	7	7	398	286	70	38
4 平生	92.7%	3.5%	3.3%	0.5%				79.8%	15.9%	2.5%	0.9%	0.9%	50.3%	36.1%	8.8%	4.8%
5年生	494	36	14	2	91	63	392	421	95	15	7	8	227	216	56	47
3平生	90.5%	6.6%	2.6%	0.4%	16.7%	11.5%	71.8%	77.1%	17.4%	2.7%	1.3%	1.5%	41.6%	39.6%	10.3%	8.6%
6年生	491	27	7	5	118	46	366	369	113	29	11	8	241	176	69	44
0 平生	92.6%	5.1%	1.3%	0.9%	22.3%	8.7%	69.1%	69.6%	21.3%	5.5%	2.1%	1.5%	45.5%	33.2%	13.0%	8.3%

小学校2年生と中学校2年生の成長課題に関する一考察

	1			4				15				1	C				
			3			1	4				15					.6	
	家の人	と将来	につい	て話し	准んで	あいさつ	がでキ	ま すか			ときに,						
	合うこ	とがあ	りますス	9,0		2011.6.2	'//' C & a	± 9 11-0	か。(相談	{をする人	すべてを	選んでく	ださい。)	事を守	れてい	ますか。	
	, ,	n+ ,	وا با باد	. 1.		だい	あまり	Jr					طبخت	/	だいた	あまり	守れ
	よく	時々	あまり		できる	たい	でき	でき	家族	友だち	先生	その他	相談	守れ	い守れ	守れて	てい
	ある	ある	ない	くない		できる	ない	ない	-3-2		70	- ,_	しない	ている	ている	いない	ない
					469	284	60	19	696	459	531	104	30				
1年生						34.1%	7.2%		39.0%			2.9%					
					378		73	14		451		105	63				
2年生						45.0%	8.6%			_	16.9%	5.7%	4.8%				
a treat					391	307	52	7	621	446		114	55	348	365	32	12
3年生					51.7%	40.6%	6.9%	0.9%	39.9%	30.1%	19.5%	6.5%	4.0%	46.0%	48.2%	4.2%	1.6%
1 /T /L					442	287	56	7	637	480	312	104	64	321	426	40	5
4年生					55.8%	36.2%	7.1%	0.9%	39.3%	28.2%	21.9%	7.2%	3.5%	40.5%	53.8%	5.1%	0.6%
5年生	93	223	160	70	243	251	48	4	403	365	179	60	51	170	321	48	7
19 华生	17.0%	40.8%	29.3%	12.8%	44.5%	46.0%	8.8%	0.7%	40.1%	26.2%	23.9%	6.1%	3.7%	31.1%	58.8%	8.8%	1.3%
6年生	89	220	158	63	278	204	40	8	344	329	108	26	76	161	301	56	12
10 平生	16.8%	41.5%	29.8%	11.9%	52.5%	38.5%	7.5%	1.5%	38.2%	25.2%	29.2%	5.7%	1.6%	30.4%	56.8%	10.6%	2.3%

		1	7			18			19			2	0	
	*H 2 3				l · ·	友だち			友だちゃ		A 13.12			12 17
		言われ と思い		-					こ, お酒, すめられ		目分が きです		いる町	が, 好
					ができま	すか。		断ること	ができま	すか。				
	だい あまり 思わ ない 思う はい ない はい				できる	まよう	でき ない	できる まよう でき			大変 好き		どちらか といえば きらい	きらい
1年出											662	131	19	20
1年生											79.6%	15.7%	2.3%	2.4%
2年生											600	205	28	13
乙十生											70.9%	24.2%	3.3%	1.5%
3年生	583	155	14	5	649	60	48				505	212	28	12
3十工	77.0%	20.5%	1.8%	0.7%	85.7%	7.9%	6.3%				66.7%	28.0%	3.7%	1.6%
4年生	599	174	16	3	718	40	34				536	217	25	14
4 中土	75.6%	22.0%	2.0%	0.4%	90.7%	5.1%	4.3%				67.7%	27.4%	3.2%	1.8%
5年生	376	157	11	2	490	39	17	487	40	19	284	229	22	11
り平生	68.9%	28.8%	2.0%	0.4%	89.7%	7.1%	3.1%	89.2%	7.3%	3.5%	52.0%	41.9%	4.0%	2.0%
6年生	331	174	20	5	488	32	10	489	30	11	228	264	23	15
0 平生	62.5%	32.8%	3.8%	0.9%	92.1%	6.0%	1.9%	92.3%	5.7%	2.1%	43.0%	49.8%	4.3%	2.8%

		2	1			2	2			2	3			2	4	
			や子ど ますか。		近所の ありま		をする	ことが	l		地域のあります		回収や		以外で 動に参 すか。	,
	よく 参加 する	時々 参加 する	あまり 参加 しない	参加 しない	よくある	時々 ある	あまり ない	ない	大変ある	どちらか といえば ある	あまり ない	ない	よく 参加 する	時々 参加 する	あまり参 加して いない	ほとんど 参加して いない
1年生	571	154	57	50	325	292	122	93								
1 中土	68.6%	18.5%	6.9%	6.0%	39.1%	35.1%	14.7%	11.2%								
2年生	615	148	45	38	306	313	142	85								
2 华王	72.7%	17.5%	5.3%	4.5%	36.2%	37.0%	16.8%	10.0%								
3年生	557	128	45	27	284	292	115	66		\angle			220	208	139	190
3 华王	73.6%	16.9%	5.9%	3.6%	37.5%	38.6%	15.2%	8.7%					29.1%	27.5%	18.4%	25.1%
4年生	597	131	35	29	312	275	149	56					223	221	193	155
4 平工	75.4%	16.5%	4.4%	3.7%	39.4%	34.7%	18.8%	7.1%					28.2%	27.9%	24.4%	19.6%
5年生	362	117	44	23	154	235	119	38	115	207	160	64	131	173	115	127
3年生	66.3%	21.4%	8.1%	4.2%	28.2%	43.0%	21.8%	7.0%	21.1%	37.9%	29.3%	11.7%	24.0%	31.7%	21.1%	23.3%
6年生	346	127	35	22	118	242	125	45	78	223	154	75	123	177	117	113
0 华生	65.3%	24.0%	6.6%	4.2%	22.3%	45.7%	23.6%	8.5%	14.7%	42.1%	29.1%	14.2%	23.2%	33.4%	22.1%	21.3%

名古屋学院大学論集

(附表-2)

平成22年度 「子どもの意識・実態調査」の結果(中学校)

			1				2				3	3			4	1	
		,	しいです	~		きは, よ	く分か	りますフ	ρ ₂ °		行事にますか。		に参加			仲のよ ますか。	
	楽しい	I	どちらかと いえば	楽しく ない	よく 分かる			ないこと		して	加して		して	いない	1~2人	3~4人	5人 以上
	353		楽しくない 39	20	117			が多い 39			いる 248		いない 9	3	35	70	551
1年生		37.5%		3.0%	_	51.9%					_	12.4%	1.4%	0.5%	5.3%	10.6%	
2年生	358	363	74	29	144	400	184	70	26	369	335	108	12	11	42	113	658
2 年生	43.4%	44.1%	9.0%	3.5%	17.5%	48.5%	22.3%	8.5%	3.2%	30.4%	27.6%	8.9%	1.0%	1.3%	5.1%	13.7%	79.9%
3年生	409	325	53	24	155	399	176	64	17	442	285	73	11	18	55	119	619
3 华生	50.4%	40.1%	6.5%	3.0%	19.1%	49.2%	21.7%	7.9%	2.1%	36.9%	23.8%	6.1%	0.9%	2.2%	6.8%	14.7%	76.3%

			5			(3			7	7				8		
	学校で	,外国0	の先生と	英語で	先生は	, クラ	スのみ	んなの	家のお	モ仁いた	170	ますか	学校の	授業の	ほかに	, どの	くらい
	あいさ	つや会話	話をしますか。ことを考えてくれますか。				すか。	300	1-121.5	C C V .	A 9 11-0	の時間	勉強を	しますフ	92°		
	自分	相手	会話はしな	しな	考え	だいた		考えて	17	時々	あまり	して		30分	1時間	2時間	3時間
			いが、あい	L)	てく		考えて	くれ	いる	して	してい	いない	しない		くらい		
	する	ばする	さつはする	`	れる	てくれる	くれない	ない		いる	ない	* '0. *		151	151	151	WT.
1年生	135	253	216	55	350	245	35	29	225	292	99	43	48	150	246	162	53
1 中土	20.5%	38.4%	32.8%	8.3%	53.1%	37.2%	5.3%	4.4%	34.1%	44.3%	15.0%	6.5%	7.3%	22.8%	37.3%	24.6%	8.0%
2年生	140	270	311	103	335	357	90	42	223	366	181	54	95	191	292	191	55
2 中土	17.0%	32.8%	37.7%	12.5%	40.7%	43.3%	10.9%	5.1%	27.1%	44.4%	22.0%	6.6%	11.5%	23.2%	35.4%	23.2%	6.7%
3年生	198	272	276	65	439	322	34	16	214	363	174	60	47	110	237	273	144
3平生	24.4%	33.5%	34.0%	8.0%	54.1%	39.7%	4.2%	2.0%	26.4%	44.8%	21.5%	7.4%	5.8%	13.6%	29.2%	33.7%	17.8%

	9				10					11			12				
	学校に行く日は, 朝食を食べてきますか。				あなたは、携帯電話 を持っていますか。			学校から帰って,パソコンや携帯 電話でメールを何時間くらいしま すか。									
	毎日食べる		食べない 日のほう が多い		のを持っ		てい	しない		1時間 ~2 時間	2時間 ~3 時間	3時間 より 多い	好き	どちらか といえば 好き	どちらか といえば きらい		
1年生	588	39	17	15	120	31	172	315	203	63	34	44	252	254	93	60	
1 华工	89.2%	5.9%	2.6%	2.3%	37.2%	9.6%	53.3%	47.8%	30.8%	9.6%	5.2%	6.7%	38.2%	38.5%	14.1%	9.1%	
2年生	729	56	20	19	194	33	183	293	266	131	55	79	307	315	131	71	
2平生	88.5%	6.8%	2.4%	2.3%	47.3%	8.0%	44.6%	35.6%	32.3%	15.9%	6.7%	9.6%	37.3%	38.2%	15.9%	8.6%	
3年生	700	60	28	23	198	28	142	244	290	139	60	78	352	292	115	52	
	86.3%	7.4%	3.5%	2.8%	53.8%	7.6%	38.6%	30.1%	35.8%	17.1%	7.4%	9.6%	43.4%	36.0%	14.2%	6.4%	

	13					1	4				15		16					
	家の人と将来について話し 合うことがありますか。				進んで	あいさつ	ができ		相談し	ことが ますか。 でくだ	(相談		ルナベ	1夕秋のきまりも夕級の約由し				
	よくある	時々ある	あまり ない	まった くない	できる	だい たい できる	あまり でき ない	でき ない	家族	友だち	先生	その他	相談 しない	守れ ている	だいた い守れ ている	あまり 守れて いない	守れ てい ない	
1年生	74	259	231	95	282	302	57	18	369	444	105	38	84	201	401	50	7	
1平生	11.2%	39.3%	35.1%	14.4%	42.8%	45.8%	8.6%	2.7%	35.5%	42.7%	10.1%	3.7%	8.1%	30.5%	60.8%	7.6%	1.1%	
2年生	107	400	240	77	289	396	120	19	377	529	118	43	168	215	521	76	12	
2平生	13.0%	48.5%	29.1%	9.3%	35.1%	48.1%	14.6%	2.3%	30.5%	42.8%	9.6%	3.5%	13.6%	26.1%	63.2%	9.2%	1.5%	
3年生	146	452	180	33	336	386	78	11	372	544	121	30	146	301	464	38	8	
3 平生	18.0%	55.7%	22.2%	4.1%	41.4%	47.6%	9.6%	1.4%	30.7%	44.8%	10.0%	2.5%	12.0%	37.1%	57.2%	4.7%	1.0%	

小学校2年生と中学校2年生の成長課題に関する一考察

		1	.7			18		19				20		21		
	Φ Η 1. 3	⇒ 1. 1.	.b. ~ 1	ルウァ	1		–	l · ·			1		–	1	い友だ ら夜遅	–
	親から言われたことは守るべきだと思いますか。							シンナーなどをすすめ られたとき,断ること								
					1 1 11			1 11			ますか。			ることができますか。		
	そう 思う	だい たい 思う	あまり 思わ ない	思わ ない	できる	まよう	でき ない	できる	まよう	できない	できる	まよう	でき ない	できる	まよう	できない
1年生	264	334	49	12	581	61	17	607	34	18	570	63	26	528	103	28
1 华王	40.1%	50.7%	7.4%	1.8%	88.2%	9.3%	2.6%	92.1%	5.2%	2.7%	86.5%	9.6%	3.9%	80.1%	15.6%	4.2%
2年生	255	476	72	21	753	59	12	758	51	15	710	91	23	632	165	27
2年生	30.9%	57.8%	8.7%	2.5%	91.4%	7.2%	1.5%	92.0%	6.2%	1.8%	86.2%	11.0%	2.8%	76.7%	20.0%	3.3%
3年生	256	473	67	15	749	54	8	755	49	7	739	56	16	661	126	24
3年生	31.6%	58.3%	8.3%	1.8%	92.4%	6.7%	1.0%	93.1%	6.0%	0.9%	91.1%	6.9%	2.0%	81.5%	15.5%	3.0%

		2	2			2	3	24					25				
	自分が住んでいる町が,好				地域のお祭りや子ども会の				近所の人と話をすることが				今住んでいる地域の歴史や				
	きですか。				活動に参加しますか。				ありますか。				自然に関心がありますか。				
	大変 好き		どちらか といえば	きらい	よく 参加	時々 参加	あまり 参加	参加しない	よくある	時々ある	あまりない	ない	大変ある	どちらか といえば	あまりない	ない	
	好る	好き	きらい		する	する	しない	CAVI	000	000	13.61		000	ある	13.61		
1年生	185	406	48	20	213	271	122	53	120	277	197	65	63	176	282	138	
1 中土	28.1%	61.6%	7.3%	3.0%	32.3%	41.1%	18.5%	8.0%	18.2%	42.0%	29.9%	9.9%	9.6%	26.7%	42.8%	20.9%	
2年生	127	589	72	36	160	358	225	81	109	338	265	112	37	184	386	217	
2 华王	15.4%	71.5%	8.7%	4.4%	19.4%	43.4%	27.3%	9.8%	13.2%	41.0%	32.2%	13.6%	4.5%	22.3%	46.8%	26.3%	
3年生	175	519	79	38	115	332	250	114	92	351	271	97	38	173	386	214	
3平生	21.6%	64.0%	9.7%	4.7%	14.2%	40.9%	30.8%	14.1%	11.3%	43.3%	33.4%	12.0%	4.7%	21.3%	47.6%	26.4%	

	26 あなたは学校以外で、資源 回収や清掃活動に参加した												
	ことがありますか。												
	よく	時々	あまり参	ほとんど									
	参加	参加	加して	参加して									
	する	する	いない	いない									
1年生	59	180	205	215									
144	9.0%	27.3%	31.1%	32.6%									
2年生	41	152	277	354									
244	5.0%	18.4%	33.6%	43.0%									
3年生	63	137	246	365									
3 平生	7.8%	16.9%	30.3%	45.0%									